

指定都市市長会 要請活動報告

資料 10

前回会議（H29.12.25 第44回指定都市市長会議）以降の要請活動一覧（要請日順）

要請・提言	日時		要請先		要請者	概要
	月日	時間	役職	氏名		
子育てに優しい社会の実現に向けた指定都市市長会提言	H29 12月26日(火)	10:00~10:15	厚生労働省 事務次官	蒲原 基道	札幌市長	PJ 報告【資料 7】に記載
		10:45~11:10	内閣府副大臣	松本 文明		
「意欲のある全ての者への学習 機会の確保」に関する指定都市 市長会要請	H30 1月23日(火)	11:30~11:40	文部科学副大臣	丹羽 秀樹	広島市長	P.2に記載
「固定資産税における家屋評価 の簡素化」に関する指定都市市 長会提言	H30 2月6日(火)	10:00~10:10	総務省事務次官 総務省自治税務局長	安田 充 内藤 尚志	神戸市長	部会報告【資料 5】に記載

「意欲のある全ての者への学習機会の確保」に関する指定都市市長会要請 活動記録

懇談内容

(1) 広島市長から「意欲のある全ての者への学習機会の確保」に関する指定都市市長会要請の趣旨説明

(2) 丹羽副大臣による主な発言要旨

- ・ 学校のプラットフォーム化は非常に重要であり、来年度もしっかり予算を確保できるように努力した。
- ・ 今後は学校のプラットフォーム化を保護者等にどう周知するかが非常に大事である。
- ・ 最近は学校の中に公民館を併設するなど、様々な方法で学校が活用されている。
- ・ 学校は、地域コミュニティの中心であり、学校を基盤とした地域の取組は、町内会等の取組よりも参画しやすいと思う。
- ・ 子どもの貧困対策においては、スクールソーシャルワーカーをしっかりと配置して、網の目をめぐらすようにきめ細かに対応することが大事である。

<要請の様子>

